

ツツザキヤマジノギク保全に関する取り組み経緯等

【ツツザキヤマジノギク等の河原生物保全のためにできること】	
①競合種（オオキンケイギク、シナダレスズメガヤ、ハリエンジュ等の外来植物）を駆除すること。	
②絶滅する危険性がないかを考えるために、現在の個数体を把握するモニタリング調査（開花株数を数える）を継続すること。	
③その他、広報や環境学習や意見交換会などの活動	
・上記対策（駆除や調査）への参加者・協力者を得るため、勉強会や観察会等のイベントを開催するなど、広報・啓発活動を行うこと。また、その調整のため、関係者が集まって意見交換会等を開催すること。	
・ツツザキヤマジノギクだけでなく、河原生物とその保全について学ぶ環境学習を設けること。（ツツザキヤマジノギクは希少であるだけでなく、生物多様性や遺伝子等について学ぶ教材として活用できる。）	

希少種ツツザキヤマジノギク（松川町天然記念物）の生息する天竜川 松川町元大島地先においては、天竜川上流河川事務所が礫河原再生工事を実施し、その後の維持管理・希少種保全対策については、地域の方々との協働によって推進してきました。具体には、外来植物駆除・モニタリング調査等の対策の必要性と実施方法の普及・啓発を目的とし、春季・秋季の2回程度、一般公募による現地活動を実施しています。調査では、オオキンケイギクなどの外来植物の急激な増加、また、出水による圃場の消失などの影響もあり、河原生物の生息・生育環境の保全の取り組みの必要性は、より一層高まっています。

表. 天竜川水系における ツツザキヤマジノギク保全活動実施状況				
①②…は、年度における時系列順				
年度	意見交換会	外来植物駆除体験会（春季）	モニタリング調査（秋季）	その他 地域の活動等
H21	①意見交換会（H22. 3. 17）：一般公募により開催。			
H22	③第1回ツツザキヤマジノギク意見交換会（H23. 3. 7）：地域の関係者等によるツツザキヤマジノギク保全活動の推進に向けた意見交換会。	①外来植物駆除体験会（H22. 7. 4）：外来植物オオキンケイギク駆除の体験を実施。【約20名参加】	②ツツザキヤマジノギク観察会（H22. 11. 6）：ツツザキヤマジノギクのモニタリング調査体験を実施。【35名参加】	
H23	③第2回ツツザキヤマジノギク意見交換会（H24. 3. 1）	①春の自然観察会（H23. 6. 12）：魚とりと外来植物オオキンケイギク駆除体験会を実施。【48名参加】	②秋の自然観察会（H23. 10. 22）：河原植物観察とツツザキヤマジノギクのモニタリング調査体験を実施。【15名参加】	H23～H28 松川青年の家松川プログラム（年に2回程度、担当区画において、魚類・鳥類等の自然観察と合わせて、外来植物駆除やツツザキヤマジノギク調査を実施）
H24	③第3回ツツザキヤマジノギク意見交換会（H24. 11. 4）：現地での松川青年の家、社会教育委員会の保全活動報告と合わせて実施。	①春の自然観察会（H24. 6. 10）：魚とりと外来植物オオキンケイギク駆除体験会を実施。【70名参加】	②秋の自然観察会（H24. 11. 4）：河原植物観察とツツザキヤマジノギクのモニタリング調査体験を実施。【22名参加】	H24～ 松川町社会教育委員活動（年に数回、担当区画において、主に外来植物駆除を実施）
H25	②第4回ツツザキヤマジノギク意見交換会（H25. 10. 27）	①春の自然観察会（H25. 7. 7）：魚とりと外来植物オオキンケイギク駆除体験会を実施。【約35名参加】		③ツツザキヤマジノギク播種（H25. 12. 19）：現地での外来植物駆除工事に伴う保全措置として、地域連携（松川町社会教育委員等と協力）による播種（工事区画から非工事区画へ）を実施
H26	①第5回ツツザキヤマジノギク意見交換会（H26. 7. 22）：現地視察（外来種駆除）と合わせ実施。		②ツツザキヤマジノギク観察会（H26. 11. 2）：松川町中央公民館主催（河川事務所共催）「地域を知る講座」により、ツツザキヤマジノギク観察と調査体験。【45名参加】	
年度	意見交換会	外来植物駆除体験会（春季）	モニタリング調査（秋季）	その他 地域の活動等

H27		①外来植物オオキンケイギク駆除会 (H27. 6. 20) ：松川町中央公民館主催「地域を知る講座」により、外来植物オオキンケイギク駆除体験会を実施。【28 名参加】	②ツツザキヤマジノギク観察会 (H27. 10. 31) : 松川町中央公民館主催「地域を知る講座」により、ツツザキヤマジノギク観察と調査体験。【29 名参加】	H27～ 松川町中央公民館活動(年に数回、担当区画において、主に外来植物駆除を実施)
H28	②ツツザキヤマジノギク意見交換 (H29. 1. 19) : 天上、建設環境研究所、青年の家、堤先生、公民館(天上提案：今後の進め方) ③ツツザキヤマジノギク意見交換会 (H29. 2. 14) : 社会教育委員会、上片桐自然友の会、文化財保護審議委員、天上、公民館		①ツツザキヤマジノギク観察会 (H28. 10. 22) : 松川町中央公民館主催「地域を知る講座」により、ツツザキヤマジノギク観察と調査体験。【30 名参加】	
H29	①ツツザキヤマジノギク意見交換会 (H29. 5. 1) : ツツザキヤマジノギク保全協議会(第 1 回) ③ツツザキヤマジノギク意見交換会(第 2 回保全協議会) (H29. 8. 22)	②外来植物オオキンケイギク駆除会 (H29. 6. 3) : 松川町中央公民館主催「地域を知る講座」により、外来植物オオキンケイギク駆除体験会を実施。【51 名参加】	④ツツザキヤマジノギク観察会 (H29. 10. 21) : 松川町中央公民館主催「地域を知る講座」により、ツツザキヤマジノギク観察と調査体験。【61 名参加】	H29 社会教育委員会によりチャンネル・ユー「ツツザキヤマジノギク PR 番組(3 回)」放映
H30	①第 3 回保全協議会 (H30. 5. 1) : 今年度の展開 ③第 4 回保全協議会 (H30. 9. 14) : 豪雨による被害を踏まえての観察会の企画 ⑤第 5 回保全協議会 (H30. 11. 14) : 天上からの新保全区画の提案 ⇒ 会として賛同 ⑧第 6 回保全協議会 (H31. 2. 4) : ツツザキ播種他	②外来植物オオキンケイギク駆除会 (H30. 6. 3) : 松川町中央公民館主催「地域を知る講座」により、外来植物オオキンケイギク駆除体験会を実施。【65 名参加】	④ツツザキヤマジノギク観察会 (H30. 10. 14) : 松川町中央公民館主催「地域を知る講座」により、ツツザキヤマジノギク観察と調査体験。【40 名参加】	⑥H30. 12. 16 保全協議会によるツツザキ採種 ⑦H31. 1. 天上による新保全区画 礪河原化
R 元	① 第 7 回保全協議会 (R 元. 5. 15)	② 外来植物オオキンケイギク駆除会 (R 元. 6. 2) : 松川町中央公民館主催「地域を知る講座	○ツツザキヤマジノギク観察会 (R 元. 10. 19) : 松川町中央公民館主催「地域を知る講座」雨天中止	
R2	R 2. 9. 16 堤先生・国交省・社会教育委員の代表で今後の展開を打ち合わせ。観察会を 10 月に行うこととした。種を取り、3 月に播くことに決定。 R2. 11. 25 第 9 回保全協議会開催 3 月播種計画他 R3. 3. 20 ツツザキヤマジノギク播種	① 外来植物オオキンケイギク駆除会 (R 2. 5) 社会教育委員会 12 名 国土交通省 30 名	② ツツザキヤマジノギク観察会 (R 2. 10. 18) : 松川町中央公民館主催「地域を知る講座」花の観察会 【26 名参加】	・7 月豪雨により、保護区域に水が流れ、新規保護区はほぼ立ち枯れ、旧青年の家区画のみとなった。 ・10 月に NHK 8K の番組で撮影が行われた。 ・中学生のニコボラ活動で取り上げ
R3	R3. 5. 21 第 10 回保全協議会：活動の展開他 R3. 10. 25 第 11 回保全協議会：観察会の反省 R3. 12. 18 種採り作業 R 4. 3. 19 播種	① 外来植物オオキンケイギク駆除会 (R3. 5. 29) ・社会教育委員会 12 名 他	②ツツジザキヤマジノギク観察会 (R3. 10. 23) 松川町中央公民館主催「地域を知る講座」 【26 名参加】	・R3. 7. 15 「令和 3 年度 河川愛護月間」 中部地方整備局長から感謝状を受ける
R4	R4. 4. 17 第 12 回保全協議会：活動計画等 R4. 9. 21 第 13 回保全協議会 ：観察会、事前草刈り、規約の検討	① 外来植物オオキンケイギク駆除会 (R4. 5. 28) ニコボラ、高校生他 44 名参加	②ツツジザキヤマジノギク観察会 (R4. 10. 22) 松川町中央公民館主催「地域を知る講座」 【50 名参加】 ※R4. 10. 15 保全地草刈り 【20 名参加】	・国立科学博物館筑波実験植物園サンプル採集